

2. 交通体系の目標

- ・ 中原区の交通の現状と課題を踏まえ、交通体系を考えるうえでの目標を次のように設定します。

■交通体系テーマ別方針の目標（キャッチフレーズ）

安全・安心・便利・快適なまちづくり

- ・ 目標を実現するための交通体系整備は、
 - 1) 道路の段階構成が明確なまち
 - 2) 環境にやさしい公共交通のあるまち
 - 3) 歩くことを楽しく、自転車と共生するまちをめざす必要があります。また、防災、バリアフリーへの配慮も必要です。

3. 交通体系整備の方針

(1) 道路交通整備の方針

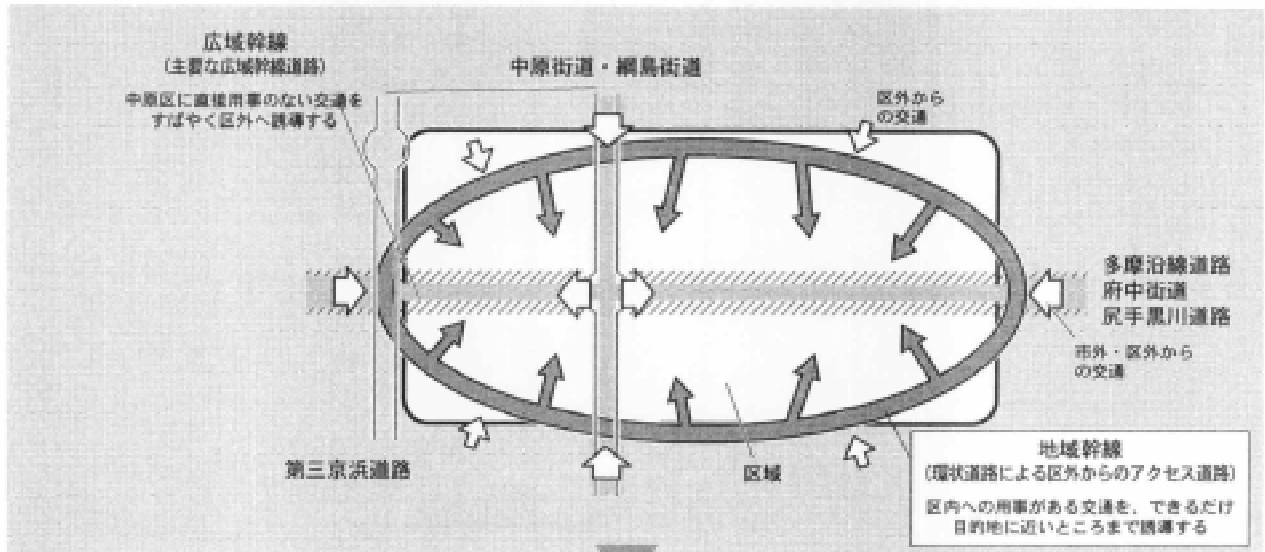
- ・ 中原区においては、環状、放射道路パターンを明確にすることにより自動車交通をスムーズに流すことが可能になると考えられますが、区内の道路は、東京大都市圏、川崎市レベルの広域交通へも対応する必要があります。このため、道路整備に当たっては、以下のような対応が考えられます。

- ① 通過交通と地域交通の入りまじり、混雑の解消
- ② 鉄道の連続立体交差による渋滞箇所の解消
- ③ 駅・大規模都市施設等へのアクセス交通の整備・改善

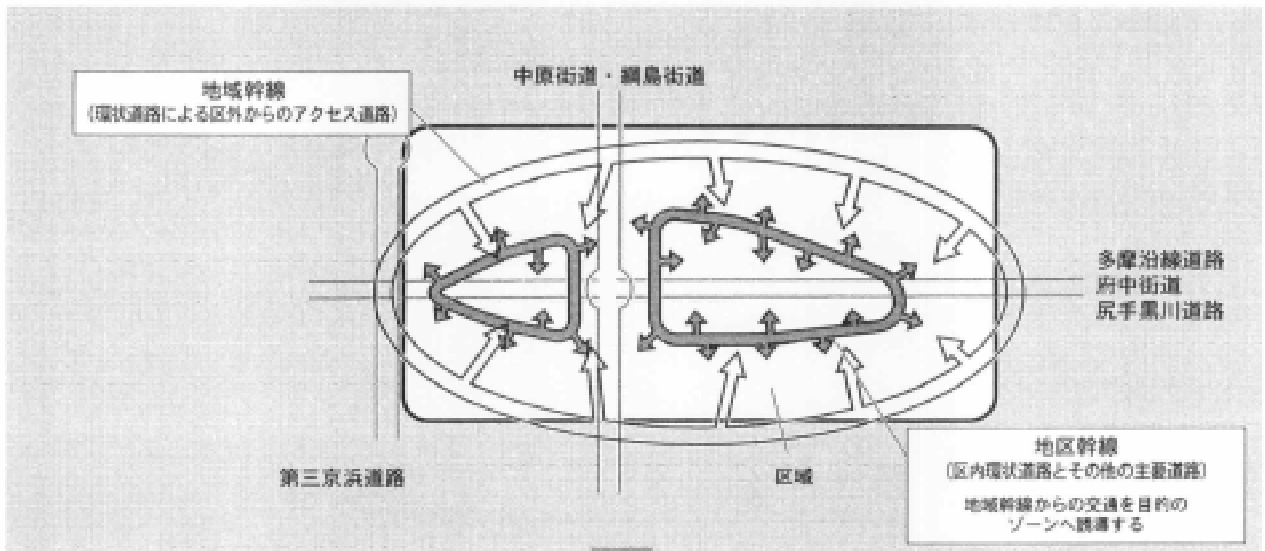
①通過交通と地域交通の入りまじり、混雑の解消

- ・ 道路整備に当たって通過交通と地域交通の入りまじり、混雑を解消するには、広域的な通過交通が極力住宅地に流入しないように、広域幹線→地域幹線→地区幹線→地区内道路を通過して目的地に向かうことを前提とした道路交通体系を確立することが必要と考えられます。
- ・ 道路の段階構成は、次のとおり分類されます。
 - 1) 主に通過交通を通す道路（バイパス道路）・・・地域幹線（外環状を形成）道路
 - 2) 主に区外と区内を結ぶ道路・・・地区幹線（内環状、放射を形成）道路
 - 3) 主に敷地へアクセスする道路（地先道路）・・・地区内道路

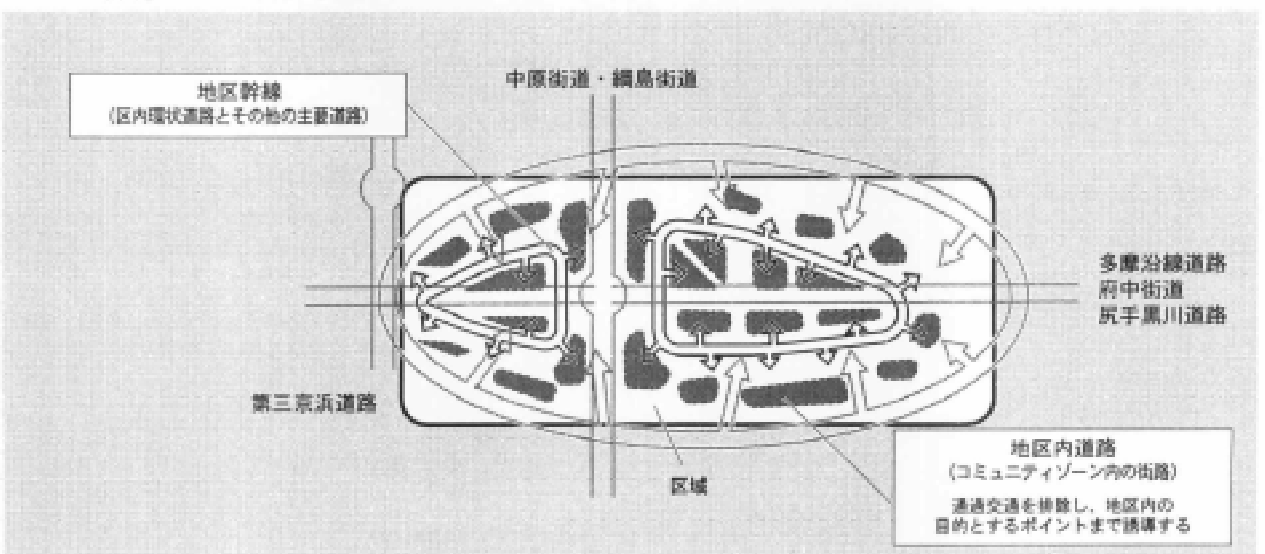
■ 広域幹線 から 地域幹線



■ 地域幹線 から 地区幹線へ



■ 地区幹線 から 地区内道路へ



3) 通過交通と地域交通の入りまじり、混雑の解消のために

(中原区の道路パターンからみた方針)

- ・東京大都市圏の放射交通、川崎市における縦貫方向の交通が区内を通過し、区の環状、放射道路を利用するため長距離通過交通と地域内交通が入りまじり、混雑し、混乱を招くことになります。このため、東京大都市圏の放射交通、川崎市における縦貫方向の交通を受け持つ道路整備が必要です。

(方針)

□東京大都市圏放射交通への対応

- ・網島街道、宮内新横浜線の整備

□川崎縦貫方向交通への対応

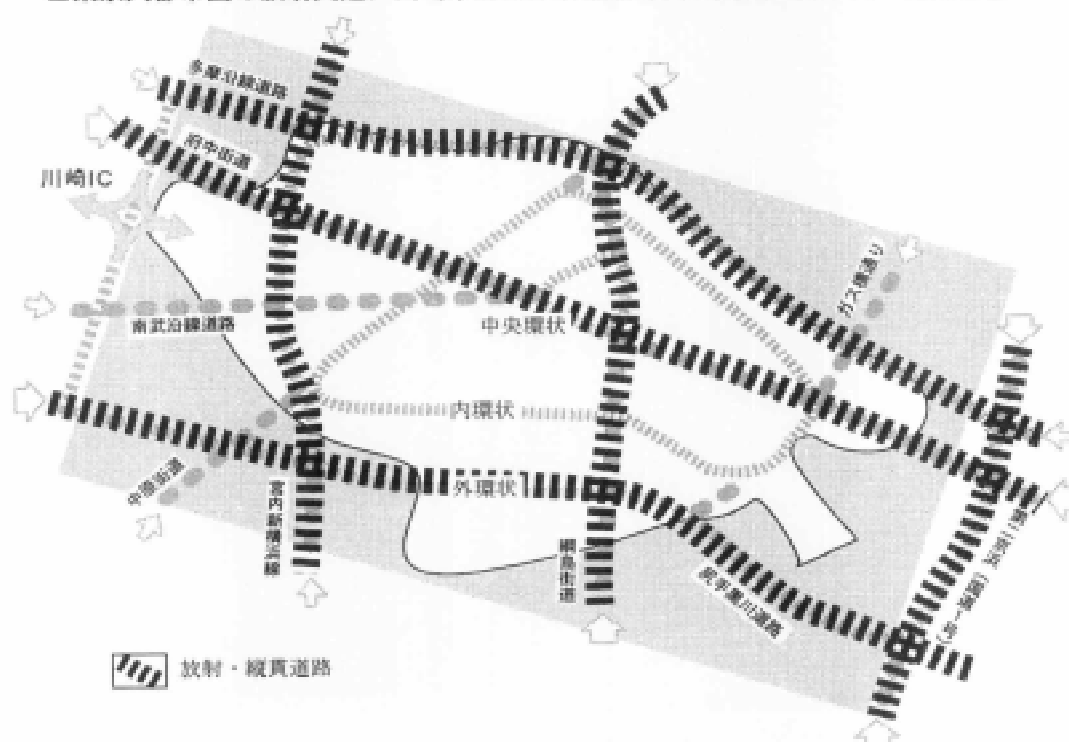
- ・川崎縦貫道路整備
- ・多摩沿線道路の整備
(ex.スーパー堤防による地下化)
- ・府中街道の整備
- ・尻手黒川道路の整備

区内交通	通過交通
第二京浜 (国道1号)	東京大都市圏放射線1号
網島街道、中原街道	東京大都市圏放射線2号
宮内新横浜線	東京大都市圏放射線3号
多摩沿線道路	川崎縦貫方向
府中街道	川崎縦貫方向 (国道409号)
尻手黒川道路	川崎縦貫方向

* 早期整備が望まれる路線

- ・宮内新横浜線：中原区内から通過交通を排除するのに重要な路線であり、東京大都市圏の放射方向の交通を受け持つものとして早期整備が望まれます。
- ・府中街道（網島街道）：網島街道との交差部における渋滞、歩道未整備による歩行者に危険な道路として早期整備が望まれます。

■東京大都市圏の放射交通、川崎市における縦貫方向の交通を受け持つ道路整備



- ・目的外の交通を地区からできるだけ排除するため、環状、放射道路を明確にし、コミュニティゾーン形成を推進する必要があります。

(方針)

□環状、放射道路の確立

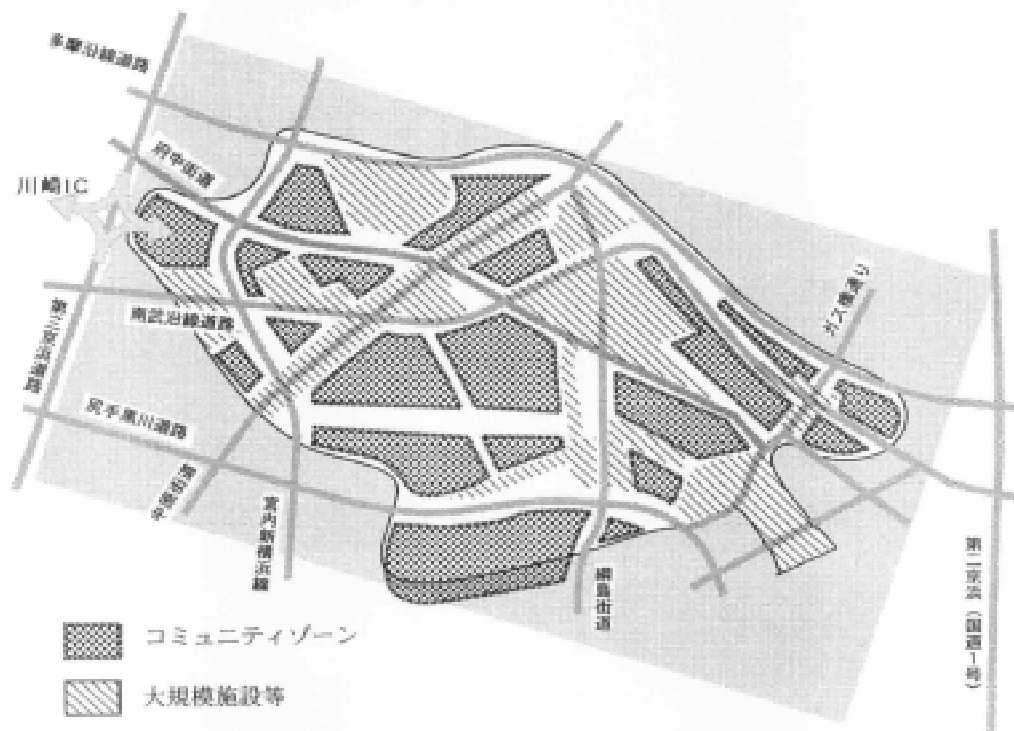
- ・環状、放射道路となる都市計画道路の整備

□コミュニティゾーンの形成

* 早期整備が望まれる路線

- ・中原街道：中原区内へ分散する交通を分担する道路として、また、東京大都市圏の放射方向の交通を受け持つものとして早期整備が望まれます。

■地区内道路とコミュニティゾーン



②鉄道の連続立体による渋滞箇所の解消

- ・中原区は、幹線道路と鉄道の交差する箇所が多くあり、地域内のスムーズな交通の流れを阻害する要因となっています。

(方針)

□区内の鉄道の完全連続立体化

□鉄道と交差する幹線道路の立体化

* 早期整備が望まれる路線

- ・ガス橋通り（大田神奈川線）：中原区内へ分散する交通を分担する道路として、また、東部地区における横断方向の重要な幹線ですが平間の踏切と跨線橋までの狭あい道路がネックとなっており早期改善が必要です。

③ 駅・大規模都市施設等へのアクセス交通の整備・改善

- ・ 中原区には、乗降客数の多い駅、繁華街、大規模な工場、運動施設等の大量の交通が発生集中する施設があります。これらの施設への交通は、できるだけ他の地区へ影響が及ばないようにアクセスさせることが求められます。

(方針)

□ 中原区における主な施設への地域幹線道路と地区幹線道路から直接アクセスできる道路整備

* 早期整備が望まれる路線

- ・ 府中街道：小杉駅へのアクセス道路であり、駅周辺の再開発により交通負荷の増大が予想されます。このことから、綱島街道との交差部における渋滞、歩道未整備による歩行者に危険な道路として早期整備が望まれます。
- ・ 中原街道：歴史的な道であり、沿道サービスが求められることから、交通の流れと沿道利用のすみ分けのため早期整備が望まれます。

■ 駅・大規模都市施設等へのアクセス交通

(駅・大規模都市施設等の分布と地域幹線道路と地区幹線道路)

